

【資料 8-8】「社会が見た京都大学総合人間学部・大学院人間・環境学研究科」アンケート調査（平成 27 年度実施）

※アンケート結果は、平成 27 年 11 月に本学部・研究科学生の就職実績のある企業 71 社に依頼し回答を得て作成したものである。

平成 27 年 1 月 13 日

京都大学大学院人間・環境学研究科
自己点検・評価委員会
委員長 石川 尚 人

自己点検・評価のためのアンケート調査
「社会が見た京都大学総合人間学部・大学院人間・環境学研究科」
ご協力をお願い

拝啓 晩秋の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。
平素より、京都大学の教育・研究活動に対しましてご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。

京都大学総合人間学部／大学院人間・環境学研究科では、教育研究水準の向上に資するために自己点検・評価を実施しております。
その際「進路・就職の状況」を分析するにあたり、本学部卒業生／研究科修士が、産業界でどのように評価されているのかをお伺い
したく、標記のアンケートを実施することにいたしました。

つきましては、本学部卒業生、ならびに本研究科修士課程修士生の就職実績のある御社の人事・採用・教育等御担当の方に、本学部・研究科の教育活動を企業等社会から見た立場で評価をしていただきたく、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。

集計の際に企業名や個人が特定されるような分析・公表は行いません。また、ご回答いただいた内容は厳重に管理し、標記の自己点検・評価の目的以外の利用はいたしません。

なお、誠に勝手ながら、ご記入いただきましたアンケート調査票は、同封の返信用封筒にて、平成 27 年 1 月 11 日（金）までにご投函いただけましたら幸いです。

大変お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、何卒ご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

本学部・研究科の教育研究上の目的と方針につきましては、同封の『人環レビュー資料編 2014』該当頁をご覧ください。また、本学部・研究科の教育研究活動についてコメントいただけましたら幸いです。

- 総合人間学部 教育研究上の目的と方針 5 頁
- 学部卒業生の就職状況 25 頁（【資料 2-19】）
- 人間・環境学研究科 教育研究上の目的と方針 3 頁
- 修士課程修士者の就職状況 34 頁（【資料 3-20】）
- 前回（平成 22 年度）に実施した企業アンケートの結果 82 頁（【資料 8-4】）

【ご返送・お問い合わせ先】

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町
京都大学大学院人間・環境学研究科
自己点検・評価委員会 総務企画室
TEL：075-753-6599（10:00～17:00）
FAX：075-753-2957

〈アンケート調査票〉

以下の質問について、ご記入又は適当と思われる項目に○印をお付けください。

【1】貴社の業種を 1～12 よりお選びください。

1. 農林漁業・鉱業 2. 建設業 3. 製造業
4. 電気・ガス・水道等 5. 運輸・通信 6. 卸売・小売
7. 金融・保険 8. 不動産 9. サービス 10. 官公庁・法人
11. 教育研究機関 12. その他（ ）

【2】貴社の従業員数をお聞かせください（本社、支社等含む）。

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 30 人未満 | 2. 30 人以上 100 人未満 |
| 3. 100 人以上 300 人未満 | 4. 300 人以上 500 人未満 |
| 5. 500 人以上 1,000 人未満 | 6. 1,000 人以上 3,000 人未満 |
| 7. 3,000 人以上 5,000 人未満 | 8. 5,000 人以上 10,000 人未満 |
| 9. 10,000 人以上 | |

【3】総合人間学部卒業生、人間・環境学研究科修士の採用にあたって、重視されるのはどのような点でしょうか。5段階評価で、最高評価を 5 とし、各々該当する 5～1 の数字に○印を付けてください。

1. 学力（広い知識・専門的知識）
2. 創造性
3. 先見性
4. 判断力
5. コミュニケーション力
6. 協調性
7. 主体性
8. 実行力
9. 柔軟性
10. 責任感
11. 社会性
12. 倫理観
13. 即戦力

【4】本学部・研究科に対し、どのような人材の育成を期待されていますか。自由にお書きください。

【5】総合人間学部卒業生、人間・環境学研究科修士の印象についてお聞かせください。5段階評価で、最高評価を 5 とし、各々該当する 5～1 の数字に○印を付けてください。

1. 幅広い知識を身に付けている。
2. 高度な専門的知識・技術力を身に付けている。
3. 高度な人権意識、環境意識を備えている。
4. 理解力や判断力が優れている。
5. コミュニケーション能力が優れている。
6. 自ら課題を発見し、設定する創造性がある。
7. チームの中で仕事を遂行する協調性がある。
8. 新たな課題に挑戦する意欲がある。
9. 未来への明確なビジョンをもつ先見性がある。
10. 総合的に判断して、優れている。

【6】卒業生や修士を採用された立場から、本学部・研究科の教育についてご意見がございましたら、自由にご記入ください

【1】貴事業所はどのような業種ですか。

製造業	30.8 %
電気・ガス・水道業	7.7 %
運輸・通信	15.4 %
卸売・小売	7.7 %
金融・保険	7.7 %
サービス	7.7 %
その他	23.1 %

【2】貴事業所の従業員数（本社、支社等を含む）はおおよそ何人ですか。

500人以上 1,000人未満	7.7 %
1,000人以上 3,000人未満	23.1 %
3,000人以上 5,000人未満	30.8 %
5,000人以上 10,000人未満	15.4 %
10,000人以上	23.1 %

【3】総合人間学部卒業生、人間・環境学研究科修士の採用にあたって重視されるのはどのような点でしょうか。5段階評価で、最高評価を⑤として、各々該当する⑤～①の数字に○印を付けてください。

(%)

	①重視しない	②あまり重視しない	③普通	④やや重視する	⑤重視する
1. 学力(広い知識・専門的知識)	0.0	0.0	0.0	63.6	36.4
2. 創造性	0.0	0.0	25.0	58.3	16.7
3. 先見性	0.0	0.0	33.3	41.7	25.0
4. 判断力	0.0	0.0	16.7	41.7	41.7
5. コミュニケーション力	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0
6. 協調性	0.0	0.0	8.3	33.3	58.3
7. 主体性	0.0	0.0	0.0	8.3	91.7
8. 実行力	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7
9. 柔軟性	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
10. 責任感	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0
11. 社会性	0.0	0.0	8.3	41.7	50.0
12. 倫理観	0.0	0.0	8.3	33.3	58.3
13. 即戦力	8.3	33.3	41.7	8.3	8.3

【5】総合人間学部卒業生、人間・環境学研究科修士の印象についてお聞かせください。最高評価を⑤として、各々該当する⑤～①の数字に○印を付けて下さい。

(%)

	①思わない	②あまり思わない	③普通	④やや思う	⑤思う
1. 幅広い知識を身に付けている	0.0	0.0	14.3	28.6	57.1
2. 高度な専門的知識・技術力を身に付けている	0.0	0.0	22.2	33.3	44.4
3. 高度な人権意識、環境意識を備えている	0.0	0.0	11.1	44.4	44.4
4. 理解力や判断力が優れている	0.0	0.0	0.0	55.6	44.4
5. コミュニケーション能力が優れている	0.0	0.0	22.2	22.2	55.6
6. 自ら課題を発見し、設定する創造性がある	0.0	0.0	0.0	44.4	55.6
7. チームの中で仕事を遂行する協調性がある	0.0	0.0	11.1	22.2	66.7
8. 新たな課題に挑戦する意欲がある	0.0	0.0	0.0	44.4	55.6
9. 未来への明確なヴィジョンをもつ先見性がある	0.0	0.0	11.1	44.4	44.4
10. 総合的に判断して、優れている	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7